

08 労働

仙南地域では、平成7年調査をピークに就業者数の減少が続いている。産業3部門では、第一次及び第二次産業で減少が続いている。一方、第三次産業では増加していたが、平成22年調査で減少に転じ、その後平成27年調査では微増となっている。産業3部門の構成割合は、第三次産業で平成12年調査以降5割を超えている。

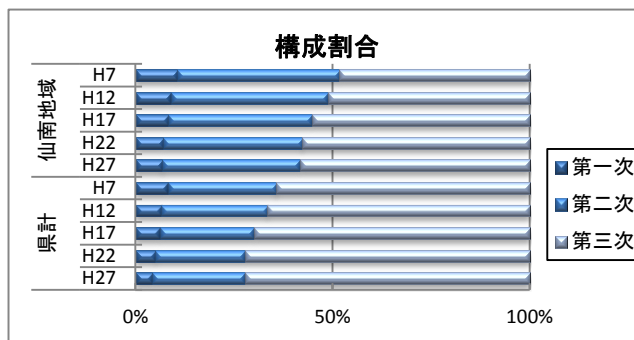
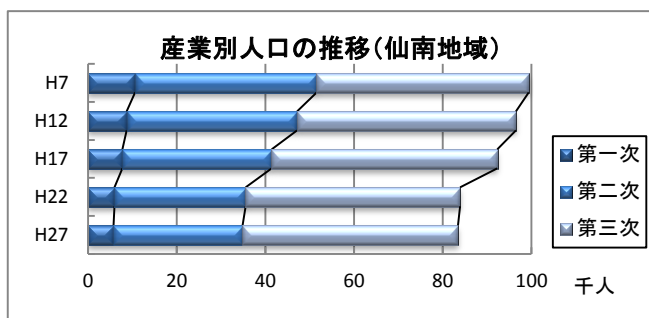
職業能力開発施設である宮城県立白石高等技術専門校では、情報化時代を担う人材育成を目指し、高度なデジタル通信技術や情報処理などの情報系を中心とした訓練を行っている。

仙南地域の有効求人倍率については、大河原公共職業安定所及び同白石出張所管内ともに、東日本大震災の復旧・復興事業の進展に伴って、堅調な伸びを示してきた。白石は1倍程度で推移しているが、大河原は平成26年3月の0.92倍をピークにその後下降した。しかし、その後微増に転じ、平成30年9月に1.00倍となり、平成30年12月の現数値では1.09倍となっている。

◆産業別人口の推移(分類不能を除く)

(単位:人)

年次	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年											
	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計										
第一次	10,607	95,534	10.7	8.2	8,703	74,909	9.0	6.6	7,746	68,985	8.4	6.3	5,958	53,219	7.1	5.1	5,748	47,017	6.9	4.5
第二次	40,966	319,950	41.2	27.6	38,441	308,345	39.8	27.0	33,664	260,754	36.5	23.8	29,585	234,210	35.3	22.6	29,108	246,510	34.9	23.4
第三次	47,818	743,999	48.1	64.2	49,359	759,343	51.1	66.5	50,887	765,734	55.1	69.9	48,361	746,752	57.6	72.2	48,577	760,125	58.2	72.1
合計	99,391	1,159,483	100.0	100.0	96,503	1,142,597	100.0	100.0	92,297	1,095,473	100.0	100.0	83,904	1,034,181	100.0	100.0	83,433	1,053,652	100.0	100.0



出典:国勢調査

◆白石高等技術専門校の職業訓練実施計画

○平成31年度普通職業訓練(普通課程—高卒コース)

科名	訓練期間	定員(人)	訓練内容	平成30年度修了者
通信システムエンジニア科	2年	1年 20	情報通信分野の無線、有線両部門における高度に情報化された電気通信システムに、幅広く適応できる知識と技術を習得します。	6人
		2年 20		10人
プログラムエンジニア科	2年	1年 20	コンピュータの操作やプログラム作成等システムの開発、保守、運用などの業務に適応できる知識と技術を習得します。	9人
		2年 20		16人
計		80		41人

○平成31年度普通職業訓練(短期課程—離転職者、在職者コース)

◇離転職者対象コース

科名	訓練期間	延定員(人)	回数
不動産管理科(予定)	6ヶ月	20	1回 委託
IT基礎科(予定)	3ヶ月	80	4回 委託
介護初任者研修科(予定)	3ヶ月	30	2回 委託
その他 5コース(予定)		140	8回 委託
計		270	17回

◇在職者対象コース(予定)

科名	延定員(人)	回数	備考
通信システムエンジニア系	40	4回	訓練期間は、各2日間(12時間)
プログラムエンジニア系	30	3回	
IT基礎系	80	8回	
オーダーメイド訓	20	2回	
計	170	17回	

◆有効求人倍率の推移(原数値)

(出典:宮城労働局 職業安定部職業安定課資料)口

